

シルバー人材センター



シンボルマーク

ニュース

ゆんたく

〈発行所〉

公益社団法人 沖縄市シルバー人材センター

〒904-2155 沖縄市美原 3丁目1番1号

電話番号 (098) 929-1361

<http://www.okinawasisi.com>

7月末現在の会員数533人

(男性357人・女性176人)

健康管理・事故防止対策の意識高揚を徹底 昨年に続き安全・適正就業推進大会縮小開催



7月は**安全・適正就業推進強化月間**。同月間のメイン行事である「令和5年度シルバー人材センター安全・適正就業推進大会」が7月12日、シルバーワークプラザ2階大会議室で開催された。コロナ禍を避けて2年ぶりに開催された昨年度の大会に引き続き、5類移行後の今大会も感染者が多いことから、参加者を15人に限定して開催し、理事等役職員をはじめ現場リーダーや地区長などの参加にとどめた。大会は、高吉満弘会員の司会で進行し、上原秀雄理事長が「新しい全国統一スローガンとともに、会員の皆さんがシルバー人生を健康で、豊かに、楽しく、過ごされていくことを願っています」と挨拶（仲宗根正史事務局長が代読）。続いて、小橋川啓安全・適正就業委員長が事故状況を報告するとともに、事故防止や熱中症予防、コロナ感染対策について会員の意識高揚と就業安全への協力をお願いした。最後に、昨年同様「熱中症はこわくない」というタイトルの研修用DVD視聴で大会を終えた。（2面に関連）

シルバー人材センターの理念

自主 自分のものとして考え

共働 一緒になって働き

自立 自分たちの力で育てる

共助 お互いに助け合う

県連合も規模縮小で安全・適正就業推進大会開催 当センターから小橋川安全・適正就業委員長らが参加



県シルバー連合主催の令和5年度シルバー人材センター安全・適正就業推進大会が7月4日、アイムユニバースてだこホール（市民交流室）で開催され、当センターから小橋川啓安全・適正就業委員長と仲里栄信安全推進員が参加した。今年度もコロナ感染拡大を受け、

昨年引き続き参加人数を制限して大会を開催。大会では、県シルバー連合事業指導員による安全・適正就業状況報告の後、事例発表があり那覇市シルバー人材センターの嘉数政隆安全・適正就業推進委員長が「市内公園の維持管理業務を請負う中で、法面草刈や遊具の修繕など難易度の高い業務を担当する専門分野からなる技能集団『移動班』と難易度の低い草刈・清掃業務が主の『固定班』に分けることで効率的に取り組んでいる」というユニークな事例を紹介した。最後に、管理栄養士の城間かおり氏が「筋力と骨力アップする食生活とは ～いつまでも若々しく、アクティブエイジングを目指して～」をテーマに、体づくりの基本などについて講演を行った。

連合との合同安全・適正就業パトロールが6月19日、女性会員11名の清掃グループ（栗国由美子リーダー）が就労するコザ運動公園内で実施。7月21日には、女性清掃グループ（砂川トミ子リーダー）が就業する県総合運動公園と草刈グループ（高江洲徳秀リーダー）14名が草刈作業中のマシタ公園を巡回した。連合の我那覇宗孝指導員は「厳しい暑さの中では屋内外問わず熱中症対策は必須。日中の作業で体内に熱がこもっているの、終業後は内熱を取り除くことが十分な休養と睡眠に繋がる」と話した。

屋内外を問わず熱中症対策は必須 連合と合同安全パトロール実施

マシタ公園



コザ運動公園 ↓

県総合運動公園



熱中症予防のために /



暑さを避ける!

❄️ 扇風機やエアコンで
温度をこまめに調節



❄️ 遮光カーテン、すだれ、
打ち水を利用



❄️ 外出時には日傘や
帽子を着用



❄️ 天気のよい日は日陰の
利用、こまめな休憩



❄️ 吸湿性・速乾性のある
通気性のよい衣服を着用



❄️ 保冷剤、氷、冷たいタオル
などで、からだを冷やす



⚠️ 『熱中症警戒アラート』発表時には、外出をなるべく控え、暑さを避けましょう

こまめに水分を補給する!

❄️ 室内でも、外出時でも、のどの渇きを感じていなくても
こまめに水分・塩分などを補給



厚生労働省 ひと・くらし、あらいめのために
Ministry of Health, Labour and Welfare

先月に続いて7月の第4回
理事会もみなし決議

コロナ感染再拡大を受け、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第96条」及び「定款第38条」の規定により、理事全員が書面でもって同意の意思表示をしたため、理事会決議を省略し、先月に続き今回もみなし決議となった。

議案第1号「正会員の入会」については、5人が承認されその結果、7月25日現在の会員数は533人（女性176人・男性357人）となった。なお、6月の退会者は6人。

会員数・契約金額はほぼ横ばい ― 6月実績 ―

令和5年6月の主な実績では、会員数528人で1人の微増（0%）、就業実人員297人で18人の減（▲6%）、就業延人員3012人で229人の減（▲7%）、配分金約1725万円で約46万円の減（▲2%）、契約金額約2193万円で約5万円の微減（0%）となった。
（対前年比同月比）

「全国統一スローガン」

「安全は無理せず

焦らず 油断せず」

熱中症の症状



⚠ 応急処置をしても症状が改善されない場合は医療機関を受診しましょう

熱中症が疑われる人を見かけたら(主な応急処置)

❄ エアコンが効いている
室内や風通しのよい日陰
など涼しい場所へ避難

❄ 衣服をゆるめ、からだを
冷やす
(首の周り、脇の下、足の付け根など)

❄ 水分・塩分、経口補水液※
などを補給
※水に食塩とブドウ糖を溶かしたもの



自力で水が飲めない、応答がおかしい時は、
ためらわずに救急車を呼びましょう!

119



ご注意

暑さの感じ方は、人によって異なります

その日の体調や暑さに対する慣れなどが影響します。
体調の変化に気をつけましょう。

室内でも熱中症予防!

暑さを感じなくても室温や外気温を測定し、扇風機や
エアコンを使って温度調整するよう心がけましょう。

高齢者や子ども、障がいをお持ちの方は、特に注意が必要!

熱中症患者のおよそ半数は65歳以上の高齢者です。
高齢者は暑さや水分不足に対する感覚機能が低下しており、
暑さに対するからだの調整機能も低下しているので、注意が必要です。
また、子どもは体温の調節能力がまだ十分に発達していないので気を配る必要があります。

こまめに
水分補給



厚生労働省

ひと、くらし、みらいのために
Ministry of Health, Labour and Welfare

◇ 8月の予定 ◇

- ・ 10日(木) 午前10時
新会員入会説明会
- ・ 25日(金) 午前10時
第5回理事会
- ・ 30日(水) 午前9時
刈払機取扱い作業者
に対する安全衛生教育

編集後記

7月は安全・適正就業強化月間にちなみ、県シ連と当センターで安全・適正就業推進大会が相次いで開催された。コロナ5類移行後、人々の生活が以前に戻った感があるが、ここ沖縄は感染者が一気に増え、第9波到来とも指摘されている。夏本番を迎え、熱中症も危険極まりない。救急搬送件数は、高齢者の熱中症とコロナが最も多い。センターの業務もこの2つの対応に追われる。熱中症警戒アラートが毎日のように発出される。熱中症には4つのリスクがある。不十分な睡眠、不十分な休憩、激しい運動、そして以前に小欄で触れた不十分な暑熱順化である。

編集 東條 正躬

大城 博